



## 『QCサークル』誌 2026年2月号 見どころ、読みどころ

### ★トップからのメッセージ

p.2~

株式会社 代表取締役社長 藏田 亮祐 さん

QC サークル活動は人財育成面での貢献がとても大きいと、継続的に触れてきて感じます。それともう 1 つ個人的に意識しているのはチーム力です。基本的に企業活動は個人戦ではなく団体戦だと思っており、当社でもチーム力の強化を大事にしてきました。社内には様々な単位のチームがあり、その小さな単位のチームが機能していかなければ会社は前に進みません。そういう意味でも QC サークル活動自体が、チーム力を身につけ高めていくための最適な場になるのではないかと私はとらえています。

### ★ザ・ショット 写真で綴る QC サークル紀行

p.5~

フジテック(株)

同社は特にオーダーメイド対応に強く、デザイン性の高いエレベータなどを得意とし、海外にも積極的に展開しながら独自の地位を築いていているエレベーター、エスカレーター、動く歩道を扱う専業メーカーだ。滋賀と東京の 2 本社体制を構えており、開発から生産までの一貫したモノづくりのマザーポッドとなる滋賀の“ビッグウイング”を訪ねました。この会社では近年 QC サークル活動活性化への力の入れ方を加速さ

せており、実際の取組みぶりが興味深い。さらに多彩な領域の中でも、ひときわ改善活動に意欲的な部門にも注目しています。

### ★特集：私たちにマッチした QC サークル活動のやり方 “あれこれ”！

p.9~

みなさんは、「QC サークル活動が自分たちにマッチしているか？」と疑問を抱いたことはありませんか？

そこで今月の特集は、「私たちにマッチした QC サークル活動のやり方 “あれこれ”」と題して、画一的で統一的な活動スタイルにとらわれず、推進事務局の働きかけやサークルの問題意識をもとに、独自性・自由度・選択制のある活動に改めた事例を紹介します。

「何だか最近、活動がスムーズに進まなくなったり？」と感じた時には、本特集を思い出し、「自分たちに調和している活動なのか？」と振り返る機会にしていただければ幸いです。

### ★活動支援のページ：リーダー・サークルに寄り添う支援の工夫～QC サークル活動をより楽しく進めるために～

p.23~

#### 第2回 発表はするけど、実際、何がどうよくなるの？さあ、どうする？

今年 1 月号からは、昨年までの「推進者のページ」と「運営のページ」を統合し、推進者およびサークルを対象として皆さんの QC サークル活動に寄り添う記事をお届けしています。前半 6 月号までは QC サークル活動の困りごとについて、企業事例を加えながら解決策を探ります。また、後半 7 月号からは課題達成型 QC ストーリーに沿って仮想サークルの成長物語をステップごとの支援ポイントを紹介していきます。

第 2 回は「発表はするけど、実際、何がどうよくなるの？さあ、どうする？」と題して読者のみなさんと一緒に考えていきたいと思います。

### ★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例 2 件、ワンポイント事例 1 件を紹介します。

#### 体験事例：p.34~

##### 1. 公益財団法人小倉医療協会 三萩野病院 「Link\*Link サークル」

「前方連携先との連携強化～安心して入院生活をおくっていただくために～」

##### 2. トヨタ紡織(株) 刈谷工場 「フレッシュマンサークル」

「ロール交換作業遅れによる設備停止撲滅～『誰もができる』職場づくり～」

#### ワンポイント事例 1：p.42~

##### 豊田合成(株) 尾西工場 「Air ピッツ！サークル」

「ソケット戻し忘れの撲滅 “知恵と工夫で「事件」を解決”」

### ★ルポ：第 55 回全日本選抜 QC サークル大会（小集団改善活動）を開催

P.48~

2025 年 11 月 14 日（金）に東京千代田区の日本教育会館で開催された「第 55 回全日本選抜 QC サークル大会（小集団改善活動）」が開催されました。本大会には、QC サークル 7 支部から推薦された 18 サークル（東北 1 事例、関東・北陸各 3 事例、東海 5 事例、九州・近畿・中国・四国各 2 事例）による各職場での改善活動や運営事例が発表され、多彩な取組みが寄せられました。

## ★私たちの活動を紹介します！<JHS(含む医療・福祉)部門編>

P.50～

トヨタ自動車東日本㈱ 総合企画部「総魂サークル」

2024年に誕生した事務部門のサークルで、今回が1件目の活動です。QCサークル活動はチームワークが必須です。よかつたのは、「自分たちで仕組みをつくる」ことを全員が意識して活動したことです。これで皆のベクトルが合い協力し合えたのです。今回の成功が、必ず次につながる大きな財産となります。

## ★私たちの活動を紹介します！<JHS(含む医療・福祉)部門編>

P.52～

株日産クリエイティブサービス 座間厚生サービス課「KOUSEI ALL STARS サークル」

今回の改善事例はテニスコートの改修工事がテーマでしたが、社員に喜んでもらえる設備投資業務を目指し、現状に甘んじず、利用者目線での改善を実現した姿勢が印象的でした。自主的にQCサークル活動を行いたいと名乗り出たこと、困難を乗り越えるチームの協力体制や、子育て世代ならではの柔軟性と前向きさは、多くの職場にとって学びとなる点です。

## ★QC検定道場

P.54～

### 第2回 QC的ものの見方・考え方(2)とデータの取り方・まとめ方(1)

「QC検定道場」では、品質管理検定(QC検定)3級の合格をめざし、レベル表にしたがって過去問題と解答、解説を紹介します。2025年9月からコンピュータ受検が導入されるという大きな動きがありました、試験内容には変更はないとされています。

2月号は、2024年3月に実施された第37回と2017年3月に実施された第23回品質管理検定(QC検定)の3級問題を取り上げ、解説しています。前月に続き「QC的ものの見方・考え方」と、今月からはさらに「データの取り方・まとめ方」について学んでいきましょう。

## ★連載講座：統計的手法をマスターして仕事に活かそう

p.58～

### 第2回 統計的方法の基礎②

この連載では、「統計的手法をマスターして仕事に活かそう」として、問題解決型QCストーリーの基本を掲載していきます。2月号は、「統計的手法の基礎②」として、3月号以降の統計的手法を学ぶための準備段階として、母数と統計量、期待値E(X)、共分散、正規分布における標本平均の分布、大数の法則、中心極限定理、検定と推定の考え方などを学んでいきます。

## ★歴史上の偉人から学ぶ“TQMの実践”

p.66～

偉人の功績やエピソードをもとに、TQMになぞって「こうだろう」と解釈して学びの記事にしています。今月号は、「織田信長から学ぶ目的思考」と題してお送りします。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品のPRの場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページをご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL : 03-5378-9817 E-mail: : editotqm@juse.or.jp

